

アンケートに記載いただいたご意見等(地区別)

【藤沢東】

1 自主防災組織の活動について
1-6 自主防災組織の活動の促進について、ご意見等がございましたらご自由にご記入ください。
近年賃貸住宅が増えているが、これら住民への防災に関して、町会からのアプローチはまったくしていない。他地域ではどのように対応しているか実情を教えてください。 ちなみに賃貸住宅住民に対して町会費徴収とかもしていない。
2 防災資機材購入に関する補助金について
2-2 対象資機材の対象に加えるべき品目がありましたら、ご自由にご記入ください。
発電機
2-3 この制度に関するご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。
世帯数に応じて、必要なリストがあると随時購入できます。 自宅避難と避難所の区別をお願いいたします。
3 各地区総合防災訓練について
実際に避難した時を想定した訓練をして欲しい。
4 避難行動要支援者に関する取組について
4-5 貴組織での要支援者に関する取組について具体的にご記入をお願いします。
タオルを使った安否確認の実施。 敬老の日のお祝い品を渡す時に現状を確認し、役員、民生委員と情報共有する。
4-6 本制度に関するご意見等がありましたら、ご自由にご記入ください。
民生委員が担当している人数が大変に多いため、民生委員も対応に苦慮している。町内会と民生委員でコミュニケーションは取れているが、実際の対応方法について検討中としか回答できない現状。
5 備蓄(食料・飲料水等)について
5-7 貴組織としての備蓄(食料・飲料水等)について、ご意見ありましたら、ご自由にご記入ください。
備蓄スペース確保と定期的管理が難しい。管理ノウハウ、管理するソフトや複数人での管理方法など、防災担当者に偏らない負担軽減策が必要と思う。
6 その他、市への防災対策へのご意見などについてご自由にご記入ください。
実際に災害が起きた時に、円滑に避難所を運営することができるか心配です。 また市からの救援物資や水の補給など、スムーズに行われるか、考えだすと不安になります。 まず自分自身がしっかり備蓄しようとは考えています。

アンケートに記載いただいたご意見等(地区別)

【藤沢西】

1 自主防災組織の活動について	
1-6 自主防災組織の活動の促進について、ご意見等がございましたらご自由にご記入ください。	自治会単位でやる防災訓練の支援、イベントの提案があると良い。 自治会費を値上げすると辞める人もいるし、上げないと資金難だし、ジレンマがある。
2 防災資機材購入に関する補助金について	
2-2 対象資機材の対象に加えるべき品目がありましたら、ご自由にご記入ください。	安価なコンプレッサー発電機(携帯用)、水3日分、食糧3日分、簡易トイレ3日分、コンロ。
2-3 この制度に関するご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。	実際に自主防災会がどこまで機能できるかわからない状態で、各家庭で供えられる機会用品を充実する必要があるが、何を取っても価格が高い。
3 各地区総合防災訓練について	
	毎年同じ訓練でマンネリ化、訓練のための訓練になっているように思う。 参加できる人が高齢者であり12月に屋外での訓練は難しい。
4 避難行動要支援者に関する取組について	
4-5 貴組織での要支援者に関する取組について具体的にご記入をお願いします。	タオルや旗を使った安否確認訓練の実施。
4-6 本制度に関するご意見等がありましたら、ご自由にご記入ください。	自治会役員が対応するのは困難です。 避難行動要支援者の調査は市自体が細部に渡りもっと調査が必要と思います。
5 備蓄(食料・飲料水等)について	
5-7 貴組織としての備蓄(食料・飲料水等)について、ご意見ありましたら、ご自由にご記入ください。	管理する事が困難であることと、人数分の確保は難しい、自分で食料と医療品の備蓄はする方がよいと考える。
6 その他、市への防災対策へのご意見などについてご自由にご記入ください。	
	避難所の管理をするため、住人情報を顔写真とひも付け、顔認証を使用した避難場管理を行うシステムを構築したい。 かなりの頻度でアンケート調査は行われているようだが同じような調査項目のように思う。もう少し現実的な具体的結果資料にならない物か。 自主防災会が抱える課題が多すぎ維持に限界がある。結局基本的には「自助」ということになる。そして普段からの心がけで「共助」を取り込んで防災力を強化して行くことが必要になる。そのため防災意識の向上、認識が必要になる。最終的に行政(公助)の適切な対応が求められる。

アンケートに記載いただいたご意見等(地区別)

【鶴沼】

1 自主防災組織の活動について
1-6 自主防災組織の活動の促進について、ご意見等がございましたらご自由にご記入ください。 マンションで在宅避難を決めた場合、全体として何をどの手順で行うべきか、指針がほしいです。 例えば排水管の確認や在宅避難届けの出し方、情報の集め方や住民への周知の仕方など。 自分たちで集めた情報が正確なのかわからないので、専門の方の意見が知りたい。 上藤が谷公園にあるかまどベンチを実際に使った炊き出し訓練が出来ないか?
2 防災資機材購入に関する補助金について
2-2 対象資機材の対象に加えるべき品目がありましたら、ご自由にご記入ください。 消火栓使用のための「火消し君」(約88,000円)を3,4年かけて町内に数か所据え付けたいので、そのための補助金を出して欲しい。
2-3 この制度に関するご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。 災害時の非常トイレ等を各戸にあらかじめ配布したい。予算オーバーで申し込みが出来ていません。 行政が推奨する資材備蓄必需品の基準数量や備蓄方法などの啓蒙支援が欲しいです。
3 各地区総合防災訓練について
防災用品の紹介だけでなく販売があったら良いと思いました。また、市の防災ラジオの申し込みが市役所に行かなくてもできると良いと思いました。
4 避難行動要支援者に関する取組について
4-5 貴組織での要支援者に関する取組について具体的にご記入をお願いします。 安否札掲示訓練は要支援者に関わらず毎年実行しています。要支援者カードをオレンジ色で作り、班長さんにそれぞれ認知して頂いています。強制ではないが災害が起こった時、自分の安全が確保できた上で声掛けする対象としては認識頂いています。 タオルを使った安否確認訓練を実施。 隣組組長に要支援者の存在と避難方法や避難先、支援内容を当事者間で共有するようお願いしています。
4-6 本制度に関するご意見等がありましたら、ご自由にご記入ください。 会長・役員が年度で交代する町内会のため、名簿が毎年受領されるかどうか、情報活用をするかどうかはその年度次第となり、継続的な取り組みが難しい。今年度の役員会では避難行動要支援者の存在を役員会で説明し、会長が名簿を保管するだけでなく避難行動要支援者へできる対応がないか検討したが、結果として町内会全体で組織として事を進めるのは難しいという結論となった。 検討過程では次のような意見があった。 ・町内会の属する地区は高齢者の比率が高く、どうしても避難行動要支援者の人数が多くなる。従って、支援する側の負担が大きいのではないかと。支援を求める人全員に対応できるかわからない。 ・避難行動要支援者は、町内会の人に災害時の支援要請を希望していることを知ってもらえたら、災害発生時に支援してもらえるという期待が高くなってしまうと思う。そうなると町内会への負担が大きいのではないかと。 ・避難行動要支援者を助けたくても自分が高齢化しており支援することが難しい。 ・災害発生時に助けられなかった場合のことを考えると心理的負担が大きい。 ・町内会の中には近所との交流がほとんどないエリアがあり、町内会の共助として始められるかどうかの判断がつかない。 ・個々の世帯の都合や考え方があるので避難行動を支援する意思のある人には避難行動要支援者の情報を提供し、知りたくない人は情報受け取らないという選択肢があるべき。
5 備蓄(食料・飲料水等)について
5-7 貴組織としての備蓄(食料・飲料水等)について、ご意見ありましたら、ご自由にご記入ください。 基本的に町内会が水や食料の備蓄をするのは無理だと考えます。保存場所、期間など費用が掛かりすぎる。 同様に行政側も食料の備蓄は無理があるので不要と思うが、水に関しては100t水槽だけでなく、各避難所に受水槽(2t程度)を設置すべきではないかと思えます。 基本的に備蓄は自助努力で各世帯が(最低1週間、できれば2週間)行うべきものであることをもっと周知徹底すべきである。 市では、近隣の企業と提携して、災害時優先的に商品(食料)を回してもらうようにしているようだが、停電や従業員の確保等で工場が稼働する可能性は低いと考えられるので、各提携企業がどの程度の期間で再稼働できると考えているのかも押さえて公表して欲しい。楽観的な見とうしより、悲観的な見とうしを表明しておかないと、市民は公助に依存する傾向となり、市民の備蓄が進まない。 飲料水、食料は各家庭、個人でのローリングストックをお願いし、町内会では備蓄していません。
6 その他、市への防災対策へのご意見などについてご自由にご記入ください。

アンケートに記載いただいたご意見等(地区別)

市の施設や指定避難場所で保管されている防災資機材、水・食料の種類や備蓄量を公開していただきたい。その際、水・食料については何人・何日分であるのか、及び何故その備蓄量としたのかについての考え方を示していただきたい。

大規模な地震発生時に鵜沼地域が液状化する可能性の高いこと、液状化現象による下水設備の不全に備えて仮設トイレや排便処理の対応が必要なことの啓蒙をポスターや市役所のサイトなどで進めて欲しいです。

アンケートに記載いただいたご意見等(地区別)

【村岡】

1 自主防災組織の活動について	
1-6 自主防災組織の活動の促進について、ご意見等がございましたらご自由にご記入ください。	マンションの防災計画が策定できておらず課題となっている。策定に向けた準備委員会を毎月開催しているが、中々進まない。外部の専門家のサポートが必要と考えている。
2 防災資機材購入に関する補助金について	
2-2 対象資機材の対象に加えるべき品目がありましたら、ご自由にご記入ください。	七輪、ステンレス大鍋。 ローリングストック食料や資材の毎年購入に対する補助金。
2-3 この制度に関するご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。	・防災倉庫の設置について 1町内会に1個しか設置できない縛りが不満。 ・備品を買うのはいいのだが、メンテナンスのことまで考えて買うべき。前任者がカセットボンベ式発電機を購入したが、正式には年2度のオイル交換が必要。誰が面倒見るの？と思う。応急救急箱(結構高価)の薬も消費期限があり、買い替えが必要。災害時の備品は、厳選して購入したいものです。
3 各地区総合防災訓練について	
	実際の災害に沿った訓練。ペットと一緒に避難訓練。 現状のまま継続はないです。徐々によくなっている。実災害時にどうなるかを念頭において改善をすべき。項目としては避難民受け入れ訓練。
4 避難行動要支援者に関する取組について	
4-5 貴組織での要支援者に関する取組について具体的にご記入をお願いします。	タオルを使った安否確認訓練の実施。 要支援者ごとに、災害発生時の連絡方法を確認しています。
4-6 本制度に関するご意見等がありましたら、ご自由にご記入ください。	現状、個人情報保護の観点もあり、名簿は受領しているが、自治会長と防災担当が持つ2つの鍵で開けられる金庫に保管している。災害時に両者がマンションに居て鍵を開けて支援者を円滑に支援できるか、課題を感じる。このような課題を解決する指針や事例を共有して欲しい。
5 備蓄(食料・飲料水等)について	
5-7 貴組織としての備蓄(食料・飲料水等)について、ご意見ありましたら、ご自由にご記入ください。	食料などの備蓄は、町内会などでは、責任者が変わるので、結局使い物にならなくなりがちです。やはり、市の防災拠点の備蓄を充実したほうが無駄が出ないと思います。 食料や水のローリングストックをどのようにすべきか悩ましい。
6 その他、市への防災対策へのご意見などについてご自由にご記入ください。	
	マンションの場合、管理組合と自治会組織があり、防災に関する自治体との窓口は自治会であるが、全世帯が加入していない。発災の時は自治会の加入有無で区別すべきでなく、当マンションでは管理組合主体で防災に対応する方針で、管理組合と自治会が共同して活動を進めている。一方、個人情報保護の観点で住人の情報も分からなくなっており、円滑な防災体制整備に苦労している。 防災訓練では消防署のご協力も頂いているが、住人の参加が増える、起震車やハシゴ車に来てもらうには日程調整が大変である。 総合防災訓練で藤が岡中学で資機材の状況を確認したが、毛布が1993年と30年以上前で、本当に使えるのか不安となった。

アンケートに記載いただいたご意見等(地区別)

【六会】

1 自主防災組織の活動について
1-6 自主防災組織の活動の促進について、ご意見等がございましたらご自由にご記入ください。
自治会未加入者の扱い(特に要配慮者等)の把握が難しいです。 個人情報保護の関係で取り扱いは慎重にすべきかと思いますが、非常時に未加入者の方の情報がないことと身体の状況が把握出来ないと安否確認や救助、食料や飲料水の確保、配布が困難になるのではないかと思います。
2 防災資機材購入に関する補助金について
2-2 対象資機材の対象に加えるべき品目がありましたら、ご自由にご記入ください。
非常食等の消耗品においても補助対象に入れて欲しい。
2-3 この制度に関するご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。
特になし。
3 各地区総合防災訓練について
自分たちの避難場所での訓練の方が役立つのでは。
4 避難行動要支援者に関する取組について
4-5 貴組織での要支援者に関する取組について具体的にご記入をお願いします。
近隣の方と日常的に、挨拶、声掛けなど、顔の見える関係づくり。 回覧板の活用。 安否確認等の訓練を実施。
4-6 本制度に関するご意見等がありましたら、ご自由にご記入ください。
民生委員との連携ができていない。
5 備蓄(食料・飲料水等)について
5-7 貴組織としての備蓄(食料・飲料水等)について、ご意見ありましたら、ご自由にご記入ください。
備蓄品については自治会内ですべて備蓄するのは限界があるため、自助の観点で各世帯で備蓄するよう周知している。
6 その他、市への防災対策へのご意見などについてご自由にご記入ください。
私たちの自治会は、世帯数も少なく、高齢化もすすんでいること、単身世帯だったり、若い世代も共働きの忙しく、自治会の存続が毎年危ぶまれており、活動を最小限に抑えている状態です。 なので自治会としての防災対策はほとんど行えていないので、個人、各家庭での取り組みに頼っております。

アンケートに記載いただいたご意見等(地区別)

【片瀬】

1 自主防災組織の活動について
1-6 自主防災組織の活動の促進について、ご意見等がございましたらご自由にご記入ください。 令和6年12月片瀬地区自主防災協議会全体会開催時に「HUG体験会」を実施。体験したが、できるだけ体験しておくべきだと思いました。
2 防災資機材購入に関する補助金について
2-2 対象資機材の対象に加えるべき品目がありましたら、ご自由にご記入ください。 車いすの人を階段で登り降りさせる手段・方法。 救急箱、生理用品購入など対象に加えられないか検討して貰いたい。
2-3 この制度に関するご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。 補助率をもっと上げてほしい。 もしくは無償提供を行なってほしい。
3 各地区総合防災訓練について
児童や学生など若い世代の参加を促す企画が必要。(防災ポスター募集とその展示、防災DVD鑑賞会などなど) とにかくマンネリで参加リピーターが少ない。参加して体験ができる項目を増やす。災害実例動画上映など。
4 避難行動要支援者に関する取組について
4-5 貴組織での要支援者に関する取組について具体的にご記入をお願いします。 毎年安否確認訓練実施。 年会費集金時に要支援者確認。 1. 安否を確認する黄色い布を、門扉に表示する訓練を実施している。 2. 2人1組(現班長と前班長)で黄色い布の不掲示宅を訪問し安否確認を行なう、その結果を各ブロック長(全4ブロック)が本部(西方公園内設置)に報告することを励行している。
4-6 本制度に関するご意見等がございましたら、ご自由にご記入ください。 避難行動要支援者名簿は受領の形をとっているが、情報保護のための体制が整っていないことから、町内会として保管せず、実態としては片瀬市民センターに保管されている。また、個人情報保護の規約もないため、名簿の内容を見ることにも躊躇がある。 自治会としてやるべきことをもっと具体的に落とし込んでほしい。
5 備蓄(食料・飲料水等)について
5-7 貴組織としての備蓄(食料・飲料水等)について、ご意見ありましたら、ご自由にご記入ください。 個人の備蓄をお願いしている。 町内会で備蓄するなら補助対象にして欲しい。 個人の備蓄について、家族構成、地域性などを考慮した最新のチェックリストを作ってほしい。
6 その他、市への防災対策へのご意見などについてご自由にご記入ください。 ・車いすの人は車道が使えなくなる：災害発生時は車で避難する人(町内以外の方)も多くなり(昨年のカムチャッカ半島地震の際に、町内の道路が海岸の134号線から避難する車で大渋滞した)、車いすの人は避難場所(しおさいセンター・他)まで運行できなく可能性が大である。 ・要支援者(車いすの人など)を如何にして一時避難場所まで到達させるか、避難ルートを選定が課題である。同時に、段差や階段を昇降させる方法も分からない。

アンケートに記載いただいたご意見等(地区別)

【明治】

1 自主防災組織の活動について	
1-6 自主防災組織の活動の促進について、ご意見等がございましたらご自由にご記入ください。	・自主防災会委員の高齢化に伴う、交代の遅れ。 ・居住者の高齢化に考慮した訓練や、避難防災のあり方について、65歳以上の高齢者が50%を超え緊急課題となっており、他の防災会の事例、指針があれば、お教え願います。
2 防災資機材購入に関する補助金について	
2-2 対象資機材の対象に加えるべき品目がありましたら、ご自由にご記入ください。	受水槽付き給水管設置工事費。 ソーラー発電機。
2-3 この制度に関するご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。	備品をそろえるのに何が必要かよくわからなかった。参考になるカタログを各自治地を常備していればスムーズに行けたと思う。
3 各地区総合防災訓練について	
	高齢者向けの災害時対応訓練等。
4 避難行動要支援者に関する取組について	
4-5 貴組織での要支援者に関する取組について具体的にご記入をお願いします。	安否確認訓練、搬送訓練、避難完了シール貼り。 一時避難所に参加している経路確認と避難時間を計測してます。
4-6 本制度に関するご意見等がありましたら、ご自由にご記入ください。	個人情報の問題はあるが地区全体が町内会に加入していないため、誰がいるのか把握できない現状である。以前はできていたが、今は難しい。
5 備蓄(食料・飲料水等)について	
5-7 貴組織としての備蓄(食料・飲料水等)について、ご意見ありましたら、ご自由にご記入ください。	在宅避難を推奨しており、備蓄はしていません。
6 その他、市への防災対策へのご意見などについてご自由にご記入ください。	
	他市に比べて藤沢市は防災意識が高く予算も確保されていると感じる。町内会に加入する人が減少しているため、緊急時の対応に不安がある。(地域住民のつながりが欠けつつある。)

アンケートに記載いただいたご意見等(地区別)

【御所見】

1 自主防災組織の活動について
1-6 自主防災組織の活動の促進について、ご意見等がございましたらご自由にご記入ください。
若い世代の参加促進に必要な、開催日の見直しや交流の場など、入りやすい事業を立案し、結果防災につながるような活動をしていきたい。 藤沢市に頼らず、自治会の中で防災に対する力をつけていきたい。 毎年防災訓練を実施しているが、現実に災害が発生した場合の対応に沿っていないように感じる。 有事の際は、自助、共助までの対応に追われ訓練の内容はあくまでもイベントである感がある。 有事の際は、救護支援を最優先に次は炊き出しが必要であると感じる。 消防車の体験乗車やパトカーの展示などは意味がうすい。煙体験も見えない中でどの様に命を守るかアドバイスもない。
2 防災資機材購入に関する補助金について
2-2 対象資機材の対象に加えるべき品目がありましたら、ご自由にご記入ください。
石油ストーブ、扇風機。 非常食についても、対象にして欲しい。
2-3 この制度に関するご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。
申請するまでの煩雑さや難解さ 自主防災組織、レシートだけで完結できるような簡便さを希望
3 各地区総合防災訓練について
すでに提案していますが、体験の種類を増やさないと、参加者が同じ物を何回もやり飽きてしまう。また、訓練後の交流は絶対に必要で顔見知りになるチャンスの場合でもあるため、会議室の開放を求めたいです。いただいている回答はその予定はないとの事でした。
4 避難行動要支援者に関する取組について
4-5 貴組織での要支援者に関する取組について具体的にご記入をお願いします。
避難レベル2と3にしぼって事前に支援が必要を再確認し、必要な方を訪問して支援内容を聞き取りしている。それに基づいて支援プランを作成し、近隣の方を訪問して説明している。 黄色のプレートやタオルなどの目印を使用した安否確認。要支援者の自宅場所の確認など。 タオルを使った安否確認の訓練、民生委員との連携。
4-6 本制度に関するご意見等がありましたら、ご自由にご記入ください。
レベル1のひとを含めると膨大な数になるが、自治会としては対応しきれないし、レベル1の人が実際に支援が必要かは甚だ疑問である。 また、レベル2と3のひと支援が不要という方もいるので、こちらの負担軽減のために、今一度支援要請の申請を送付者に理解してもらうようにしてほしい。
5 備蓄(食料・飲料水等)について
5-7 貴組織としての備蓄(食料・飲料水等)について、ご意見ありましたら、ご自由にご記入ください。
飲料水を備蓄しているか使うこともなく期限がきてしまう。 昨年度から浄水器に切り替え始めたが防災井戸が電気ポンプなので停電したら使えない。なので手動式も併設する為の資金が必要である。 保管する場所が足りない
6 その他、市への防災対策へのご意見などについてご自由にご記入ください。
災害の種類ごとに、対策の指針みたいなものを提示していただくと助かります。

アンケートに記載いただいたご意見等(地区別)

【遠藤】

1 自主防災組織の活動について
1-6 自主防災組織の活動の促進について、ご意見等がございましたらご自由にご記入ください。 防災ナビなどの冊子は全世帯に配布して、日頃の防災意識をもっと高めたいと考えています。
2 防災資機材購入に関する補助金について
2-2 対象資機材の対象に加えるべき品目がありましたら、ご自由にご記入ください。 これまでの自治会活動において、大体必要なものはそろっていると思われます。逆に市から、こういう品目もあるなど補足情報を毎年1度でも良いので、お知らせいただくと助かります。
2-3 この制度に関するご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。 制度そのものは良いものと考えますが、限度を超えた災害(例:直下型地震など)の発生時には、どの程度役に立つかが見えず。なかなか難しさを感じます。
3 各地区総合防災訓練について
実地体験訓練が以前に比べ少なくなってきたと思います。もっと一般住民も参加できる機会を設けていただきたい。
4 避難行動要支援者に関する取組について
4-5 貴組織での要支援者に関する取組について具体的にご記入をお願いします。 マグネットシールを使って安否確認の訓練を行っております。 マップを作成し、防災隊内で共有している。
4-6 本制度に関するご意見等がありましたら、ご自由にご記入ください。 現在の規模の制度を維持していただくことが重要と考えます。
5 備蓄(食料・飲料水等)について
5-7 貴組織としての備蓄(食料・飲料水等)について、ご意見ありましたら、ご自由にご記入ください。 基本的に食料、飲料水については各世帯の考え方もバラバラなので、各世帯任せとなっています。もう少し防災意識を高めれば、ばらつきがなくなってゆくと思われますが、住民の高齢化の影響が大きく、加入世帯数も考慮すると保存場所なども大きなスペースが必要となるので、なかなかできない状況です。
6 その他、市への防災対策へのご意見などについてご自由にご記入ください。
より住民全体の防災意識を高める工夫をお願いいたします。

アンケートに記載いただいたご意見等(地区別)

【長後】

1 自主防災組織の活動について
1-6 自主防災組織の活動の促進について、ご意見等がございましたらご自由にご記入ください。
地域住民の危機意識が足りない。会員の退会が多い。防災倉庫の見直しが必要。 災害が起きた際に仕事等で自宅に居ない場合も想定され、また毎年入れ替わる自治会役員がその適材適所性も含めてどこまで責任を持って活動にあたるべきなのか、難しさを感じる。
2 防災資機材購入に関する補助金について
2-2 対象資機材の対象に加えるべき品目がありましたら、ご自由にご記入ください。
太陽光発電設備、冷風設備、大型防災倉庫 設備ではないですが、市職員が防災倉庫の土地を地主交渉してほしい。
2-3 この制度に関するご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。
今年度、利用を考えたが、見積りや写真など、申請が少し煩雑に感じた。 一度使うと少なくなるので、新しくしたいですが、活用できない。
3 各地区総合防災訓練について
子どもが参加できるイベントにしてほしい。 安否確認訓練の継続は、必要だが、新たな情報発信機能を構築する必要がある。
4 避難行動要支援者に関する取組について
4-5 貴組織での要支援者に関する取組について具体的にご記入をお願いします。
長後地区防災会が地区全体で安否確認訓練。 民生委員さんと協力して支援者の情報を共有。 また、当自治会と他の3自治会合同で耐震者や消防署と連携して防災訓練開催。 要支援者台帳を作成している。(要支援2と3のみ) 現在は、自治会長が保管している。(以前は、区長も保管していたが、個人情報を持つのは荷が重いと拒否)
4-6 本制度に関するご意見等がございましたら、ご自由にご記入ください。
自治会へのお願いだけでは、前に進まない。(自治会加入率は6割を切ろうとしている) アパートの入居者は3割しか自治会に入会していない。 町内会ごとの防災組織は、神話になっている。 防災の基本は、「隣近所で声をかけあう」自治会は、何もできない、動ける人が動く「在宅避難が基本」。
5 備蓄(食料・飲料水等)について
5-7 貴組織としての備蓄(食料・飲料水等)について、ご意見ありましたら、ご自由にご記入ください。
自治会の防災倉庫は、きめ細かい管理が難しいので、期限のある食料や飲料水の備蓄はしていない。食料や飲料水は、各家庭で備蓄してもらい、防災倉庫には、道具類や、簡易トイレなどを備えておくのが良いと思う。 備蓄品については個々の食事量や咀嚼が可能なものなど体調的な理由により、飲料水以外は各世帯において自主備蓄する主旨を促している。
6 その他、市への防災対策へのご意見などについてご自由にご記入ください。
災害時、消防団だけでは人手不足になると予測されますので、消防団OBなど消防関係に係ったOBも含め、担当の分団と一緒に訓練することも必要ではないか。聞いた話では、予備の可搬ポンプ、ホースなどが詰め所に置いてあると聞きますので、いざという時に運用できるよう訓練したらと思います。 もっと参加しやすい防災訓練や対策を考えて欲しいと思います。

アンケートに記載いただいたご意見等(地区別)

【辻堂】

1 自主防災組織の活動について	
1-6 自主防災組織の活動の促進について、ご意見等がございましたらご自由にご記入ください。	総合防災訓練は会場が遠く、参加者が少ないのが課題である。防災単独のイベントは関心が低く参加者が少ないため、別のイベントと抱き合わせで実施している。炊き出し訓練は一日清掃デーと一緒にやっている。
2 防災資機材購入に関する補助金について	
2-2 対象資機材の対象に加えるべき品目がありましたら、ご自由にご記入ください。	自治会として購入・備蓄する防災食(長期保存水及び長期保存食)、自治会として購入・備蓄する簡易トイレへの補助金。 飲料水、食料、燃料、電池。
2-3 この制度に関するご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。	町内会の会員も役員も防災意識が高くありません。 今は防災意識の高い方達向けにイベントを行なっているようですが、意識の低い方が必要性を認識できるような活動を進めてほしい。
3 各地区総合防災訓練について	
	本番で避難が難しい方、介助が必要な方などが参加するよう見直してほしい。
4 避難行動要支援者に関する取組について	
4-5 貴組織での要支援者に関する取組について具体的にご記入をお願いします。	無事ですタオルを使った安否確認訓練を年2回実施。 要支援者の個別避計画の作成及び更新を各10組の担当毎、年1回民生委員と自主防災の組長、委員で実施。 市主催の津波避難訓練では、要支援者マップをもとに、個別に訪ねて避難の手助けをしている。また、防災マニュアルにも災害時には、安否確認カードの確認と共に、要支援者の様子を伺うことにしている。 要支援者名簿に基づき、防災部長を中心に自主防災会長、民生委員で戸別訪問し、要支援者の要望等確認をしています。 過去には、要支援者で自力移動困難者で、車椅子を持って無い方がおられましたので、補助金を活用して2台購入しました。リヤカーも購入しています。
4-6 本制度に関するご意見等がありましたら、ご自由にご記入ください。	防災倉庫を置こうとしても町内会で土地を購入しなければならない、名簿も一年たたないと渡せないなど、防災は忘れた頃にやってくるから慌てないという意識が感じられます。 町内会での対応を望むのであればバックアップして頂けると良いのですが、現状は一部の方の達成感のために活動になっています。 市民全体が意識を高め実際に対応できる方法を考えませんか？
5 備蓄(食料・飲料水等)について	
5-7 貴組織としての備蓄(食料・飲料水等)について、ご意見ありましたら、ご自由にご記入ください。	防災組織としては、備蓄していません。備蓄すると頼りされ、自分で備蓄しないようになる。また、会で備蓄するにはかねがきる、賞味期限の管理など煩わしく、人手も足りない。 町内会としては、防災倉庫のスペースの関係で保管はゼロです。当町内会では、各ご家庭で、3日間出来れば1週間分の食料品と水の確保をお願いしています。水、長期保存食を調達する際に、市からの補助金があれば、保管率が向上すると思いますので、ご検討よろしく申し上げます。
6 その他、市への防災対策へのご意見などについてご自由にご記入ください。	
	防災訓練が訓練の訓練になっている気がする。 「本番を想定した訓練」になるようにやり方、あり方を見直すべきだと思う。

アンケートに記載いただいたご意見等(地区別)

【善行】

1 自主防災組織の活動について
1-6 自主防災組織の活動の促進について、ご意見等がございましたらご自由にご記入ください。
自治会の中で活動や運営をするには、知識や意識が足りないと感じる。担当者は、前任者から引き継いで1年間の係の役割を務めるので精一杯であり、活動を促進するのは困難。
2 防災資機材購入に関する補助金について
2-2 対象資機材の対象に加えるべき品目がありましたら、ご自由にご記入ください。
飲料水、食品の拡充
2-3 この制度に関するご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。
助成金を有効活用させていただき感謝申し上げます。今後も助成金予算の継続をお願い致します。
3 各地区総合防災訓練について
HUGを行ってほしい、昨年の訓練では、項目が多過ぎて回りきれなかった
4 避難行動要支援者に関する取組について
4-5 貴組織での要支援者に関する取組について具体的にご記入をお願いします。
自治会で作成したタスキを使った安否確認訓練、全加入世帯を訪問し、防災グッズ等を配布しながら関係づくりを行なっています。 タオルを使用した安否確認 敬老祝い金配布時要支援者を中心に訪問し状況確認をしている。
4-6 本制度に関するご意見等がありましたら、ご自由にご記入ください。
要支援者の方々の避難支援はたいへん重要であり、気にはなっておりますが、自治会役員は1年間の任期で、年度ごとに担当者が入れ替わるので、なかなか体制を整えるところまでは行き着けない。
5 備蓄(食料・飲料水等)について
5-7 貴組織としての備蓄(食料・飲料水等)について、ご意見ありましたら、ご自由にご記入ください。
年度ごとに防災倉庫の点検をして整備や補充は行っている。係も引き継ぎはしているけれど、食料も飲料水も、倉庫内の備蓄物資だけでは、到底足りないと思う。 備蓄する防災倉庫スペースが足りない
6 その他、市への防災対策へのご意見などについてご自由にご記入ください。
亀井野住宅自治会は善行地区に所属しているが、避難する場所は俣野小学校。その避難所の管轄は六会市民センター。善行と六会、あちこちになっており複雑なので、善行に統一してほしい。

アンケートに記載いただいたご意見等(地区別)

【湘南大庭】

1 自主防災組織の活動について	
1-6 自主防災組織の活動の促進について、ご意見等がございましたらご自由にご記入ください。	高齢化、動ける世帯は共働き。 学生を取り込みたいが、親の腰が重いと勧誘するも良い返事は貰えず。 自主防災班を立ち上げようと2年間働きかけているが、自治会役員は毎年変わるし、各家庭で防災に備えているからと自治会を退会していくので、組織を立ち上げるのが困難である。 が、12月にかまどを作ったの炊き出し訓練(餅つきと豚汁)を実施し、手応えはかなりあったので、次年度に繋げていきたい。
2 防災資機材購入に関する補助金について	
2-2 対象資機材の対象に加えるべき品目がありましたら、ご自由にご記入ください。	ガスボンベを利用した発電機と暖房器具と簡易ベッド 防災食や非常用トイレ、ホイッスルなど参加賞で配布できるものを検討してほしい。
2-3 この制度に関するご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。	自治会の防災訓練費用の補助、ハード面だけで無く、住民の防災リーダー、資格、被災地での研修等のソフト面にも予算を活用すること。 制度がある事自体知らなかった
3 各地区総合防災訓練について	
	市民センターの人の指示で動き、形だけを確認して終わる年一回だけの訓練では何も残らない。継続した訓練にもならない。住民が自分達で考えて行動する訓練の積み重ねが重要です。
4 避難行動要支援者に関する取組について	
4-5 貴組織での要支援者に関する取組について具体的にご記入をお願いします。	避難行動要支援者に毎年「聴き取り調査票」を届けて状況の変化がないか聞き取り。 対面希望があれば面接して支援に必要な希望を聞く。 無事ですタオルを使つての安否確認訓練を実施。炊き出し訓練のチラシも投函しているが、高齢者のため来訪が少ない。 極々狭い範囲ではあるが、お惣菜やお菓子などを持って行って、元気かどうかを確認している。
4-6 本制度に関するご意見等がございましたら、ご自由にご記入ください。	人の善意や奉仕(ボランティア)の心がないと成り立たない組織は、上手く回らないと思う。 避難行動要支援者に載っているお名前は確認してあります。もしもの時にはお声がけをするつもりです。
5 備蓄(食料・飲料水等)について	
5-7 貴組織としての備蓄(食料・飲料水等)について、ご意見ありましたら、ご自由にご記入ください。	市は備蓄日数を10日以上に変更して周知する必要があります。3日できれば7日と言う説明は東南海地震等の大地震発生を想定すると住民は非現実的と見ています。市民には市が言うから3日で良い、後は市から支給されると信じている人もいます。市の広報の責任は重大です。 消費期限の管理が難しい。
6 その他、市への防災対策へのご意見などについてご自由にご記入ください。	
	備蓄食料セットの配布を2年に一度でも良いので実施してほしい。 市の防災の取り組み方がわかりづらい。

アンケートに記載いただいたご意見等(地区別)

【湘南台】

1 自主防災組織の活動について

1-6 自主防災組織の活動の促進について、ご意見等がございましたらご自由にご記入ください。

自治会にも言えることだと思いますが、
・ライフスタイルの変化や人間関係の希薄化(「近所付き合い＝生活インフラ」が困っても個人やネットで完結してしまう)
・役割の重さ(責任が曖昧なのに苦情は来るなど・・・やる人が損をする構造)
・価値観のギャップ(若い世代は強制参加、前例踏襲などに強い抵抗感あり)
などから、活動への参加者が減っています。
また、自治会(自主防災組織含む)は任意団体でありながら、防災・防犯・行政の補完を担っている事にも起因しているのではないかと思います。
時代に沿った在り方(これまでと同じではなく)を模索すべきかと思います。
※個人的な見解です。

2 防災資機材購入に関する補助金について

2-2 対象資機材の対象に加えるべき品目がありましたら、ご自由にご記入ください。

ポータブル電源
デジタルな通信手段が使えなくても連絡可能な通信機器

2-3 この制度に関するご意見などがありましたら、ご自由にご記入ください。

マンション自治会では、多くの場合、役員が毎年交替する持ち回り制で運営されています。そのため、役員交替時の引継ぎが十分に行われず、「何を行うべきか」「最低限どの業務を押さえる必要があるのか」といった基本的な判断が難しい状況が生じています。制度や個別補助金の紹介ではなく、自治会運営において最低限実施すべき事項や判断の目安となる指標(チェックリスト等)を、簡潔に示していただくことは可能でしょうか。毎年交替する役員でも迷わず対応できるような、実務に即した指導・整理をご検討いただけますと幸いです。
金額の制限があって、防災倉庫の物を買って替えた年が2年ほど前にありました。現在後1年間ほど使えない状況です。もう少し補助金があれば、大きな水を入れる容器や子供用プールぐらいのものなどがあればそこに川の水を入れたら良いのではないかと考えます。この制度の使い方として安全な燃料、備長炭を備蓄できたらどうだろうとの意見もありました。

3 各地区総合防災訓練について

日曜日開催希望
水の配給について具体化して欲しい

4 避難行動要支援者に関する取組について

4-5 貴組織での要支援者に関する取組について具体的にご記入をお願いします。

1.安否確認用玄関先に出すはたの配布。
2.民生委員との情報交換(定例化はしていない)

4-6 本制度に関するご意見等がありましたら、ご自由にご記入ください。

プライバシーの問題もあり、自治会独自の意向だけで推進するには難しい。例えば民生委員と共同で取り組むとか、未加入者の「避難行動要支援者名簿」の方から使用許可を得て、自治会と共有して加入者と同様な対応を今後検討する。
居住の転入・転出や名簿登録者の消息が適時・的確にフォローされるか否かと更新がキーになりそう。要支援者は、おそらく自主歩行が無理のケースが多いと思うが、搬送は人力か車いすか車両かのいずれかです。当自治会には車いす1台もなし。

5 備蓄(食料・飲料水等)について

5-7 貴組織としての備蓄(食料・飲料水等)について、ご意見ありましたら、ご自由にご記入ください。

当自治会では、食料備蓄については「まずは自助を最優先」とする方針を基本としている。
自治会の備蓄倉庫の容量には限界があり、現在の加入率および人口規模を踏まえると、共助を前提とした備蓄を自治会が担うことには明確な限界がある。
自治会が一定量の備蓄を行うことで一時的に助かる住民が出る可能性はあるものの、「自治会が備蓄している」という安心感が、各家庭での備蓄を妨げる要因になる懸念がある。
また、実際の災害時には配布対象や優先順位を巡って混乱や対立が生じる可能性が高く、自治会がその調整を担うことは現実的に困難であると考えている。
今後は、自治会としての備蓄は縮小または廃止を検討し、「自治会備蓄は原則ない」という前提のもとで、行政による啓発と各家庭での自助備蓄の徹底を強化していただきたい。

6 その他、市への防災対策へのご意見などについてご自由にご記入ください。

アンケートに記載いただいたご意見等(地区別)

湘南台地区は生産年齢人口が多い地域である一方、自治会加入率は低く、現役世代を中心に自治会活動への参加が進みにくい構造的課題を抱えている。

仕事や子育てに多忙な世代が多い中で、従来型の自治会運営を前提とした防災体制には限界があると感じている。現実的に、自治会活動に前向きな住民は減少傾向にあり、少数の役員に業務と責任が集中している。自治会の必要性は理解しているものの、住民の協力がなければ役員にとっては大きな負担であり、持続可能な体制とは言い難い。

今後は、行政と自治会が一体となった新たな防災体制の構築が不可欠である。

また、自治会数が多く小規模分散している現状は、防災の観点からも非効率であり、行政主体による統合や再編を含めた抜本的な制度見直しを検討していただきたい。